

**令和4年度に使用する中学校教科用図書の  
選定に必要な資料**

**令和3年度作成**

**鳥取県教科用図書選定審議会**

# 歷史

社 会	歴 史	発行者番号 2	略称 東書	書名 新しい社会 歴史
-----	-----	---------	-------	-------------

項 目		特 徴
学習方法の工夫について	①基礎・基本の確実な定着を図るための工夫	<p>ア 本時の学習の時代が視覚的につかめるよう、見開き 2 ページ左下に時代スケールの年表が掲載されている。(P20、P22、P24 等)</p> <p>イ 学習で身に付けた知識を整理し活用できるよう、見開き2ページ右下に「チェック&amp;トライ」が掲載されている。(P21等)</p> <p>ウ 「スキル・アップ」(20項目)で「集める・読み取る・まとめる」など、歴史学習を進めていく上での「学びの基礎・基本」が身に付く工夫がされている。(P9、P11、P15等)</p>
	②自主的・自発的な学習を促すための工夫や、個に応じた学習の工夫	<p>ア 「もっと歴史」では、既習内容をさらに深め、広げ、異なる視点でとらえられるよう設定されている。(P54-55、P90-91、P140-141等)</p> <p>イ 「みんなでチャレンジ」では、グループ活動や話し合い活動が設定されている。(P7、P12、P19等)</p> <p>ウ 「歴史にアクセス」では、既習内容について資料を使いさらに詳しく学ぶことができるよう工夫されている。(P8、P47、P49等)</p> <p>エ 自主的に学習を進めることができるよう、Dマークのついた教材には、二次元コードが掲載されている。(P8、P15等)</p> <p>オ 各章の最後に、思考力、判断力、表現力を生かす「まとめの活動」がある。</p>
内容の構成・配列について	③単元構成の工夫(単元の設定・配列の相違等)	<p>ア 各章の導入として、小学校での既習内容を復習し、学習の見通しが持てるよう、「導入の活動」が設定されている。(P18-19、P62-63、P98-99等)</p>
	④各学年の学習内容の構成の工夫(学び方や考え方の展開の相違等)	<p>ア 小学校で学んだ人物のイラストを使って復習できるよう、第1章導入「歴史のとびら」が設けられている。(P6-7)</p> <p>イ 地理・公民の他分野と「分野関連」マークを付けて関連させたり、地図帳との関連付けがされたりしている。(P267-269、P270-272等) (P26、P28、P36等)</p> <p>ウ 国語や理科など、他教科との関連が「教科関連」マークで示されている。(P15、P25、P51等)</p>
	⑤特徴的な単元における課題の構成の工夫	<p>ア 「地域の歴史を調べよう」では、身近な地域の歴史を調査学習する課題が設定されている。(P56-57、P92-93、P142-143等)</p> <p>イ 「もっと歴史」では、「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」というテーマが設定されている。(P54-55、P90-91、P140-141、P198-199、P272-275)</p> <p>ウ 巻末には「さくいん」の他に、用語解説がある。(P284-289)</p>
その他	⑥今日的な教育課題との関わりなど	<p>ア 北方領土、竹島、尖閣諸島について、写真や歴史的な資料が掲載されている。(P180-181)</p> <p>イ 「地域の歴史を調べよう」では、東京大空襲について取り上げられ、探究的な学習の形で紹介されている。(P244-245)</p> <p>ウ 「もっと歴史」の「震災の記憶を語りつぐ」では、東北地方のいくつかの町の取組などが掲載されている。(P274-275)</p> <p>エ 持続可能な社会に向けて、SDGsの説明がある。(P270-271)</p>

社 会	歴 史	発行者番号 17	略称 教出	書名 中学社会 歴史 未来をひらく
-----	-----	----------	-------	-------------------

項 目		特 徴
学習方法の工夫について	①基礎・基本の確実な定着を図るための工夫	<p>ア 難解な用語等について、側注や「解説」で説明されている。(P21、P22、P23等)</p> <p>イ 本時の学習がどの時代のものかが視覚的にとらえられるよう、見開きページのタイトル上に時代スケールの年表が掲載されている。(P20、P22、P24等)</p> <p>ウ 学習課題の振り返りができるよう、見開き2ページの右下の「確認」と「表現」が設定されている。(P20等)</p>
	②自主的・自発的な学習を促すための工夫や、個に応じた学習の工夫	<p>ア 自主的・自発的に学習が深められるよう、二次元コード「まなびリンク」が掲載されている。(P17、P59、P95等)</p> <p>イ 学習課題の接続ができるよう、見開き2ページの上に出てくる人物の問いかけを考える活動が設定されている。(P21、P22、P24等)</p> <p>ウ 学びが深められるよう、「歴史の窓」「歴史の技」「身近な地域の歴史を調べよう」「歴史を探ろう」が設定されている。(P63等、P23等、P36等、P52等)</p>
内容の構成・配列について	③単元構成の工夫（単元の設定・配列の相違等）	<p>ア 各章の「学習を始めよう」では、この章で学ぶ主題がクエスチョン(Q)形式で設定されている。(P18-19、P60-61、P96-97等)</p> <p>イ 各章の終わりには「学習のまとめと表現」として、その章(世代)を年表・人物・地図・絵などの視点で振り返らせる設定になっている。(P56-57、P92-93、P142-143等)</p> <p>ウ 「見方・考え方」の例として、時期や推移、比較、関連が挙げられ、説明されている。(P7)</p>
	④各学年の学習内容の構成の工夫（学び方や考え方の展開の相違等）	<p>ア 第1章「歴史の流れをとらえよう」では、小学校の既習人物を用いて歴史すごろくに取り組ませ、ゲームの要素を入れながら中学校での学びの導入にする工夫がされている。(P2-3)</p> <p>イ 小学校での既習人物等には「小学校」のマークが付けられ、小学校での学びとリンクさせている。(P40、P46、P47等)</p> <p>ウ 「関連」の印で地理や公民の学習とのつながりが示されている。(P5、P36、P52)</p> <p>エ 巻末の年表が見開き5ページで作成され、原始から現代までが一度に見られる工夫がされている。</p>
	⑤特徴的な単元における課題の構成の工夫	<p>ア 「歴史を探ろう」の「神話にみる古代人の信仰」では、出雲大社や鳥取県日南町の神楽の様子が紹介されている。(P54-55)</p>
その他	⑥今日的な教育課題との関わりなど	<p>ア 「歴史を探ろう」の「日本の領土をめぐる課題」では、日本の領土・領海の地図や写真が掲載されている。(P268-269)</p> <p>イ 「歴史を探ろう」の「戦争の記憶をつなぐ人々」「平和と共生を願う人々」では、平和学習についての題材が取り扱われている。(P248-P249、P284-P285)</p> <p>ウ 持続可能な未来の実現に向け、SDGsの世界を変える17の視点を用いた単元が最終章に設けられている。(P289)</p>

社 会	歴 史	発行者番号 46	略称 帝国	書名 社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
-----	-----	----------	-------	---------------------------

項目		特徴
学習方法工夫について	①基礎・基本の確実な定着を図るための工夫	<p>ア 「技能をみがく」を設け、歴史の見方・考え方を身に付けるための技を育てる工夫がされている。(P5、P7-10、P37-38等)</p> <p>イ 学んでいる時代が分かるよう、全ての右ページの右側に年表が掲載されている。</p> <p>ウ 難しい用語について、「解説」で説明されている。(P16、P19、P21等)</p>
	②自主的・自発的な学習を促すための工夫や、個に応じた学習の工夫	<p>ア 自主的な学習が進められるよう、二次元コードが設けられている。(P14、P34、P48、P56等)</p> <p>イ 「人物コラム」では、様々な立場の人々が紹介され、巻末の「人物さくいん」ではその人物がどの分野で活躍したかで色分けされ、記載されている。(P18、P22、P23等、P288-289)</p> <p>ウ 章末では、左ページは知識、右ページは問いに対する振り返りができるよう、「章の学習を振り返ろう」が設けられ、節の最後では「節の問いを振り返ろう」で学んだことが説明され、表現力の育成をはかることができるよう工夫されている。(P23、P31、P56-57等)</p> <p>エ 「歴史を探ろう」・「地域史」では、当時の社会を地域の視点で眺め、具体的事例を通じて学ぶことができるよう工夫されている。(P32-33、P72-73、P120-121等)</p>
内容構成の配列について	③単元構成の工夫(単元の設定・配列の相違等)	<p>ア 各章のはじめでは、見通しをもって学習に取り組めるよう、「章の問い(単元を貫く問い)」が設けられている。(P14、P60、P94等)</p> <p>イ 各節のはじめでは、「節の問い」が設けられている。</p>
	④各学年の学習内容の構成の工夫(学び方や考え方の展開の相違等)	<p>ア 各章のはじめ「タイムトラベル」では、前の時代と比較することで歴史的な見方・考え方を培い、疑問点を見つけることでその時代の特色がつかめる工夫がされている。(P24-25、P34-35、P48-49等)</p> <p>イ 日本の歴史を世界の動きと関連させて学ぶことができるよう、ワイドなイラスト地図が設けられている。(P42-43、P98-99、P156-157)</p>
	⑤特徴的な単元における課題の構成の工夫	<p>ア 文化史は、伝統文化への関心が高められるよう、4ページ以上で構成され、写真で紹介されている。(P42-47、P52-55、P66-69等)</p> <p>イ 異なる意見や資料を通して多面的・多角的に考察し、思考力・判断力・表現力がつけられるよう、「多面的・多角的に考えよう」が設けられている。(P144-145、P188-189、P230-231)</p>
その他	⑥今日的な教育課題との関わり等	<p>ア 領土について、本文と「歴史を探ろう」で説明されている。(P266-267)</p> <p>イ 「歴史を探ろう」では、満州移民、沖縄戦が取り上げられている。(P240-P241、P250-251)</p> <p>ウ 歴史を多角的にとらえることができるよう、環境・交流・人権・平和の視点で先人の取り組みが紹介されている。(P51、P77、P83)</p> <p>エ 未来に向けて、多面的・多角的に考える単元が最終章に設けられている。(P286-287)</p>

社 会	歴 史	発行者番号 81	略称 山川	書名 中学歴史 日本と世界
-----	-----	----------	-------	---------------

項 目		特 徴
学習方法の工夫について	①基礎・基本の確実な定着を図るための工夫	ア 分かりにくい用語は、同ページに「用語解説」が設定されている。(P17、P18、P20等) イ 振り返りができるよう、各章末には「まとめ」のページが設けられている。(P60-61、P100-101、P152-153等)
	②自主的・自発的な学習を促すための工夫や、個に応じた学習の工夫	ア ホームページや動画・音声などを見たり聞いたりできるよう、二次元コードが掲載されている。(P47、P59、P88等) イ 自主的・自発的な学びができるよう、資料やグラフ、写真などの横に発問がつけられている。(P17、P18、P20等) ウ 「身近な地域を調べよう」で地域学習の方法を詳しく説明し、その具体例として「地域からのアプローチ」では、日本の7つの地域を取り上げ、地域を通しての歴史学習が設定されている。(P46-47、P58-59、P68-69) エ 「コラム」で内容が詳しく説明され、「人物コラム」で歴史上人物のエピソードが紹介されている。(P16、P19、P24等)
内容の構成・配列について	③単元構成の工夫（単元の設定・配列の相違等）	ア 各章の扉には、日本史と世界史の時代を上下に分けて示す帯年表が関連資料とともに示されている。(P14-15、P62-63、P102-103等)
	④各学年の学習内容の構成の工夫（学び方や考え方の展開の相違等）	ア 世界史の内容が、高等学校の教科書レベルで記載されている。(P20-21、P24-25、P104-109等)
	⑤特徴的な単元における課題の構成の工夫	ア 「歴史を考えよう」では、文学・美術作品や資料などで課題を話し合い、考察できるよう工夫されている。(P56-57、P76-77、P95-96等) イ 「歴史へのアプローチ」では、歴史を深く学ぶことができるよう、専門性が高い内容が記載されている。(P32-33、P78-79、P88-89等)
その他	⑥今日的な教育課題との関わりなど	ア 日本の領土について、「歴史へのアプローチ⑩」で説明されている。(P266-267) イ 「地域からのアプローチ⑦」では、沖縄について琉球王国から現代までが扱われている。(P276-277) ウ 「歴史へのアプローチ⑧」では、日本の植民地支配について説明されている。(P200-201)

社 会	歴 史	発行者番号 116	略称 日文	書名 中学社会 歴史的分野
-----	-----	-----------	-------	---------------

項 目		特 徴
学習方法の工夫について	①基礎・基本の確実な定着を図るための工夫	<p>ア 1時間が見開き2ページで構成され、重要語句が太字と小見出しで示され、「基本用語」では、歴史上の重要語句・重要事象が解説されている。(P20、P24、P25)</p> <p>イ 学習課題の振り返りができるよう、見開き2ページの右下の「確認」が設定されている。(P19、P21、P23等)</p> <p>ウ 歴史的事象の流れや起きた場所などが確認でき、歴史的事象の定着が図れるよう、各ページに小年表や小地図が配置されている。(P30等)</p> <p>エ 学んでいる時代がわかるよう、右ページの横に年表が付けられている。</p>
	②自主的・自発的な学習を促すための工夫や、個に応じた学習の工夫	<p>ア デジタル資料が使えるよう、デジタルマークが掲載されている。(P32、P34、P74等)</p> <p>イ 主体的・対話的で深い学びが実践できるよう、「チャレンジ歴史」と「アクティビティ」が設定されている。(P34-35、P74-75、P136-137等)</p>
内容の構成・配列について	③単元構成の工夫（単元の設定・配列の相違等）	<p>ア 各編の導入部の「地図で見る世界の動き」ではその編の内容を年表と地図で概観させ、編の終わりでは「学習の整理と活用」でもう一度年表と地図で振り返りをさせる構成になっている。(P66-67等、P104-105等)</p> <p>イ 巻末の年表が9ページで構成され、教科書との関連が示されている。</p>
	④各学年の学習内容の構成の工夫（学び方や考え方の展開の相違等）	<p>ア 中学校の授業の導入が出来るよう、小学校で学習した人物や文化財をイラストや写真で振り返らせる設定になっている。(P6-7)</p> <p>イ ページの下に小学校地理・歴史との連携が示されている。(P30、P40、P42等)</p> <p>ウ 国語、道徳、美術など他教科との関連が示されている。(P131、P247、P308)</p> <p>エ 実物大の江戸図屏風や、室町時代の洛中・洛外図屏風と江戸図屏風が見開き4ページで掲載されている。(P106-109)</p>
	⑤特徴的な単元における課題の構成の工夫	<p>ア 「歴史を掘り下げる オリンピック・パラリンピックの歴史」で2020東京五輪・パラリンピックや大阪・関西万博について記述され、近代五輪の理念や万博との関わりが扱われている。(P280-281)</p> <p>イ 解決が求められる現代の諸課題について、よりよい社会の実現が主体的に考えられるよう、歴史学習の終わりには「歴史との対話」を「未来に活かす」が設けられている。(P298-305)</p>
その他	⑥今日的な教育課題との関わりなど	<p>ア 「歴史を掘り下げる」では、北方領土、竹島、尖閣諸島問題が扱われている。(P292-293)</p> <p>イ 「出かけよう地域調べ」では、大阪空襲が取り上げられている。(P256-257)</p> <p>ウ 「琉球の文化」「アイヌの文化」が取り上げられている。(P92-93、P132-133)</p>

社 会	歴 史	発行者番号 225	略称 自由社	書名 新しい歴史教科書
-----	-----	-----------	--------	-------------

項 目		特 徴
学 習 方 法 の 工 夫 に つ い て	①基礎・基本の確実な定着を図るための工夫	<p>ア 各単元で学習する時代、時期がつかめるよう、見開き2ページ左下に年表「歴史モノサシ」が掲載されている。(P20、P22、P24等)</p> <p>イ 小学校で学習した歴史上の人物や重要人物を確認するために、各章のはじめに〈予告篇〉が掲載されている。(P19、P69、P105等)</p> <p>ウ 見開き2ページの右下に、本時の学習を復習することができる「チャレンジ」が設定されている。(P20、P22、P24等)</p> <p>エ 章末に各章の復習ができる問題や地図を活用した問題をまとめた「復習問題のページ」が設定されている。(P66、P102、P146等)</p>
	②自主的・自発的な学習を促すための工夫や、個に応じた学習の工夫	<p>ア 各章で調べ学習に適したコラム「もっと知りたい」の設定や「調べ学習のページ」で調べ学習の例の紹介がされている。(P32-33、P40-41、P64-65等)</p> <p>イ 各章末にそれぞれの時代区分の特徴を捉えられる課題を提示した「時代の特徴を考えるページ」が設定されている。(P67、P103、P147等)</p>
内 容 の 構 成 ・ 配 列 に つ い て	③単元構成の工夫(単元の設定・配列の相違等)	<p>ア 各単元の番号が、章や節ごとではなく全ての章を貫いた通し番号(1~94)として記載されている。</p> <p>イ 各章の〈まとめ図〉と次の章の〈予告編〉が見開き2ページで示され、章と章(時代と時代)のつながりを意識できる構成になっている。(P68-69、P104-105、P148-149等)</p>
	④各学年の学習内容の構成の工夫(学び方や考え方の展開の相違等)	<p>ア 「歴史の言葉」または「知っ得ポイント」の中で、その言葉の由来や歴史的事象の解説が掲載されている。(P22、P27、P49等)</p> <p>イ 各章末の「復習問題のページ」では、地図帳の活用や地理的分野の学習と関連させられる「地図問題」が掲載されている。(P66、P102、P146等)</p>
	⑤特徴的な単元における課題の構成の工夫	<p>ア 各時代の外国人が見た日本や日本の文化、できごとについて、多面的に考えることができる「外の目から見た日本」が設定されている。(P35、P116、P143等)</p>
そ の 他	⑥今日的な教育課題との関わりなど	<p>ア 日本の領域に関する資料、写真等が掲載されている。(P172-173、P262-263、P278-279)</p> <p>イ 東日本大震災をはじめとする自然災害に関する資料、写真等が掲載されている。(P277、P282)</p>



社 会	歴 史	発行者番号 227	略称 育鵬社	書名 [最新]新しい日本の歴史
-----	-----	-----------	--------	-----------------

項 目		特 徴
学習方法の工夫について	① 基礎・基本の確実な定着を図るための工夫	ア 時代ごとの長さや位置関係がわかるよう、各章のはじめに「歴史モノサシ」(100年=1cm)が提示されている。(P19、P69、P103等) イ 単元で学習した内容を自分で整理しまとめられるよう、各章末には「学習のまとめ」が設けられている。(P66-67、P100-101、P152-153等)
	②自主的・自発的な学習を促すための工夫や、個に応じた学習の工夫	ア 「このころの世界は」では、各時代の日本の歴史とかかわりの深い外国の動きについて解説されている。(P38、P84、P110等) イ 様々な資料をもとに深い学びができるよう、「歴史のターニングポイント」が設けられている。(P64、P98、P150等)
内容の構成・配列について	③単元構成の工夫(単元の設定・配列の相違等)	ア 各章冒頭に「鳥の目」で歴史の流れを大観する「歴史絵巻」と虫の目で時代の特色をつかむ「〇〇の世界へようこそ!」が設定されている。 イ 巻末に日本の歴史を大観するため、日本の歴史のまとめとし、日本の歴史を400字の文章で表現する単元が設定されている。(P292-293)
	④各学年の学習内容の構成の工夫(学び方や考え方の展開の相違等)	ア 序章により、小学校での学習内容(おもな出来事・人物)が復習できるよう工夫されている。(P8-11) イ 「地域の歴史を調べてみよう」①②では、大阪・横浜を題材として、探究調査の方法が説明されている。(P13-18、P156-159)
	⑤特徴的な単元における課題の構成の工夫	ア 「歴史ビュー」では、本文の内容にかかる事項について多角的な視点から解説されている。(P35、P37、P47等) イ 「三種の神器」「伊勢神宮」「国民とともに歩む天皇」等、神話・天皇について掲載されている。(P56-57、P282) ウ 各章のはじめに「海洋国家日本のあゆみ」を置き、各時代を象徴する船を取り上げ外国との関わりが示されている。(P19、P69、P103等) エ 『私の歴史博物館』をデザインしてみよう』では、生徒が学芸員になったつもりで展示方法を考えることで知識を深め活用する工夫がされている。(P65、P99、P101)
その他	⑥今日的な教育課題との関わりなど	ア 「歴史ズームイン」では、北方領土、尖閣諸島、竹島について、歴史的資料が取り上げられている。(P266-267) イ 各章の最終ページに「なでしこ日本史」が設定され、その時代の象徴的な女性について説明されている。(P68、P102、P154等) ウ 「歴史ズームイン」では、日本で過去に起こった震災についての年表や石碑の写真が掲載されている。(P284-285)

社 会	歴 史	発行者番号 229	略称 学び舎	書名 ともに学ぶ人間の歴史
-----	-----	-----------	--------	---------------

項目		特徴
学 習 方 法 工 夫 に つ い て	①基礎・基本の確実な定着を図るための工夫	<p>ア 基礎的な知識の定着が図れるよう、各章に「〇〇をふりかえる」のページが設定されている。(P34、P52、P84-85等)</p> <p>イ 難しい用語が、同ページで説明されている。(P13、P19、P20等)</p>
	②自主的・自発的な学習を促すための工夫や、個に応じた学習の工夫	<p>ア 生活の中で歴史が体感できるよう、「歴史を体験する」「実験」などのコーナーが設けられている。(P34-35、P104-105、P158-159等)</p> <p>イ スリーヒントクイズやゲームなどで学習内容を振り返らせ、意見交換などができるよう、各部ごとに「学習のまとめ」のページが設けられている。(P52-53、P84-85、P134-135等)</p> <p>ウ 深く歴史を学ぶことができるよう、ページ下には「コラム」が設けられている。(P5、P13、P15等)</p>
内 容 構 成 の ・ 配 列 に つ い て	③単元構成の工夫 (単元の設定・配列の相違等)	<p>ア 各章のはじめのページでは、課題意識が持てるよう、世界地図を中心に、その時代に関する写真や絵(学習課題)が示されている。(P10-11、P36-37、P54-55等)</p> <p>イ 巻末年表の時代区分が「本州」「北海道」「沖縄」の地域ごとに示されている。(P282-293)</p>
	④各学年の学習内容の構成の工夫(学び方や考え方の展開の相違等)	<p>ア 時代が明確になるよう、本文はじめに「フォーカス」が設けられている。(P30、P56、P58等)</p>
	⑤特徴的な単元における課題の構成の工夫	<p>ア 多面的に考えることができるよう、蒙古襲来や日清・日露戦争など、日本と相手国の両方の目線で記述されている。(P68-69、P184-185)</p> <p>イ 東アジア(中国・朝鮮半島)などの近隣諸国について具体的に記載されている。(P56、P68、P72等)</p> <p>ウ 人(民衆)を軸として歴史を見る構成になっている。(P150-157、P198-207)</p>
そ の 他	⑥今日的な教育課題との関わり等	<p>ア 領土問題について、尖閣諸島・竹島・北方領土問題が簡潔に書かれている。(P185、P189、P257)</p> <p>イ 戦争の現実を知り、平和についての考えが深められるよう、体験者の証言やエピソードなどが記載されている。(P240、P241)</p>